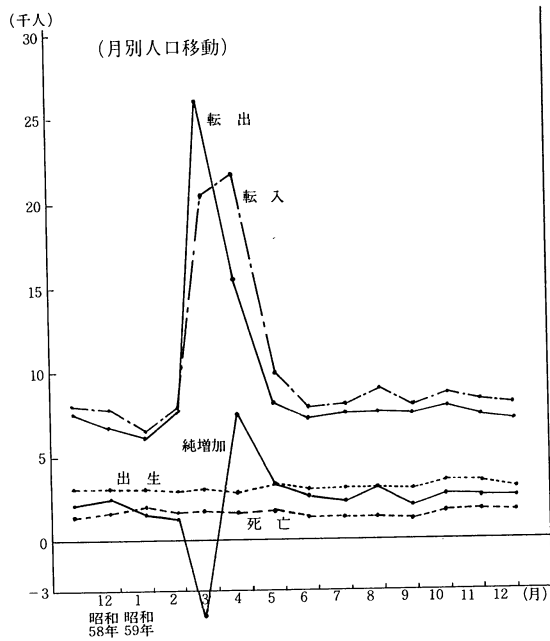


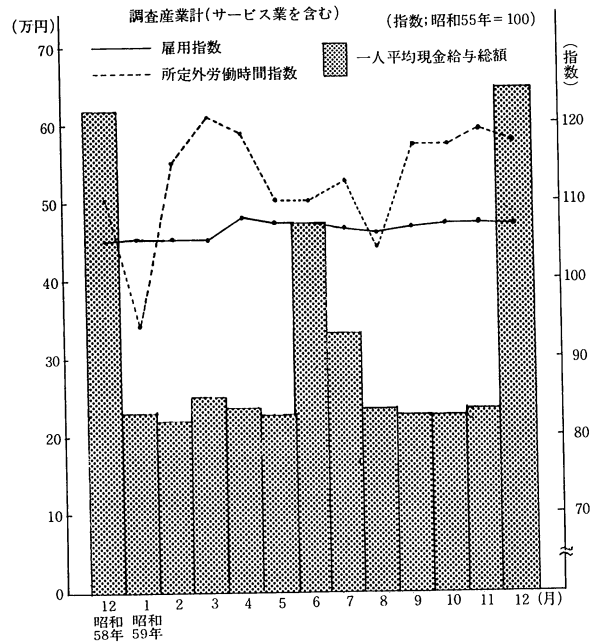
● 今月の主な動き

今月の主な動き

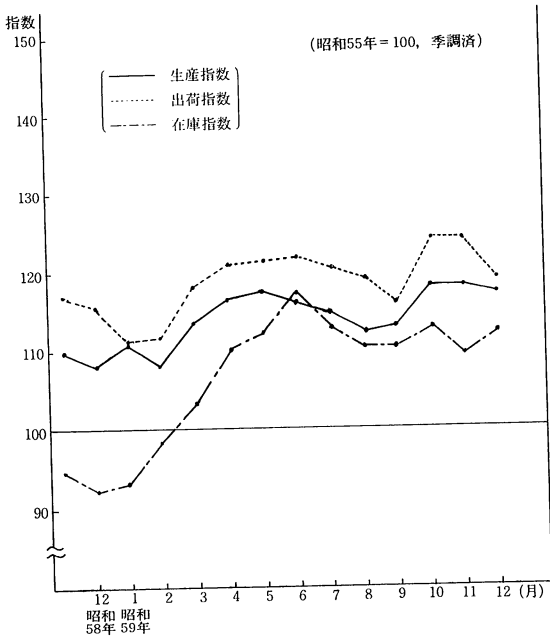
人 口



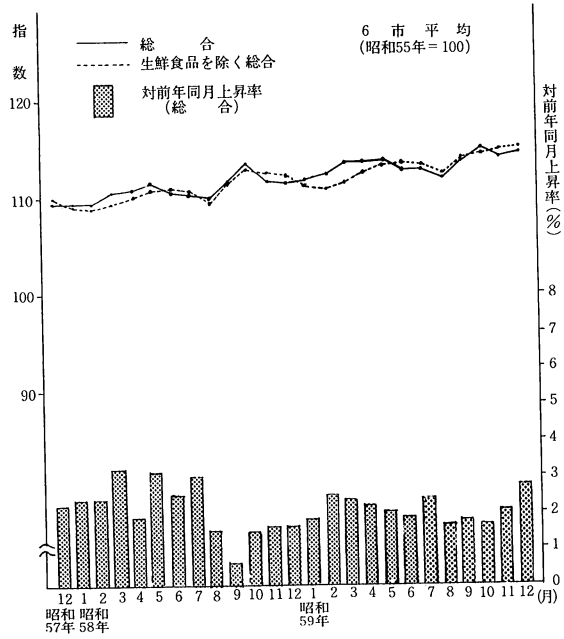
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(昭和60年1月1日)

本県の人口は、昨年12月中に2,478人増加し、1月1日現在で2,698,165人となった。昭和59年中の人口増加は25,874人(0.97%)で、昭和58年(1.18%)を下回った。

内訳は、自然動態で1,434人(出生2,894人、死亡1,460人)の増加、社会動態で1,044人(転入8,171人、転出7,127

人)の増加である。

市町村別では、増加16市54町村、減少2市17町村、増減なし3町村である。

世帯数は、467世帯増加し751,148世帯となった。なお、世帯数は昨年中に11,703世帯(1.58%)増加している。

■賃金・労働時間・雇用(12月)

1. 平均賃金の推移

12月の常用労働者1人1ヶ月平均現金給与総額は644,633円で前月に比べ182.2%増(前年同月比4.4%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,697円で前月に比べ0.5%減(前年同月比3.7%増)であり、特別に支払われた給与は422,936円で前年同月に比べ19,071円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は180.4時間で、前月に比べ1.8%減(前

年同月比保ち合い)であり、所定外労働時間数は18.3時間で、前月に比べ1.1%減(前年同月比7.1%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、106.6で、前月に比べ0.2ポイント減、前年同月に比べ1.4ポイント増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(12月)

昭和59年12月の本県の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が117.1、出荷が119.5、在庫が112.0で、前月比は、生産が△1.6%、出荷が△3.2%の低下、在庫が2.1%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.4%、出荷が4.2%、在庫が24.5%の上昇であった。

生産を業種別にみると、精密機械、繊維、その他工業等が上昇し、石油・石炭製品、鉱業等が低下した。

出荷を業種別にみると、金属製品、繊維、精密機械等が

上昇し、鉱業、窯業・土石製品等が低下した。

在庫を業種別にみると、鉱業、輸送機械、木材・木製品等が上昇し、石油・石炭製品、パルプ・紙・紙加工品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。出荷では、建設財が上昇し、その他用生産財、非耐久消費財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、建設財が低下した。

■消費者物価指数(12月)

昭和59年12月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で114.7(昭和55年=100)となり、前月比(+0.3%)、対前年同月比(+2.8%)の上昇となった。

今月上がった主な項目……果物(+10.8%)、家賃(+1.5%)、他の家具・家事用品(+1.2%)

今月下がった主な項目……身の回り用品(-1.9%)、他の光熱(-1.4%)、乳卵類(-1.0%)

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	114.7	0.3	2.8	保健医療	113.5	0.0	5.1
食 料	114.4	0.6	3.3	交通通信	109.5	△0.1	2.4
住 居	114.9	1.0	2.0	教 育	134.3	0.0	5.2
光熱・水道	109.0	△0.2	0.6	教養娯楽	114.9	0.3	1.6
家具・家事用品	109.1	0.7	3.9	諸 雑 費	113.8	△0.4	0.9
被服及び履き物	120.0	△0.5	2.2	生鮮食品(除総合)	114.9	0.0	2.2